

# LAMP法による甲殻類病原性ウイルスの 検出方法及び検出試薬キット

管理番号:A-012  
特願2008-027938

## 課題

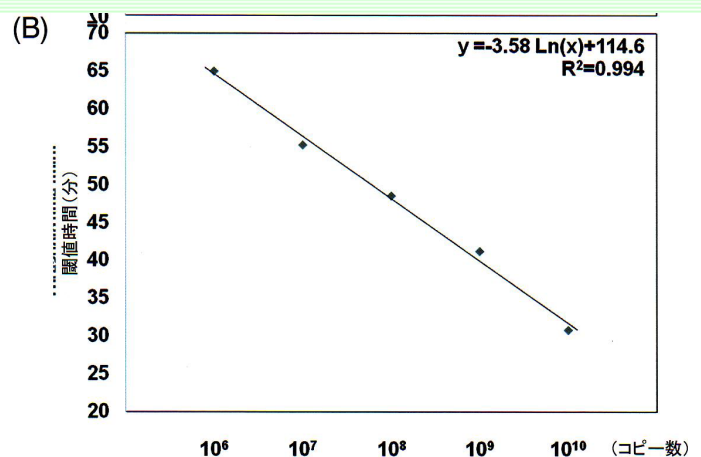
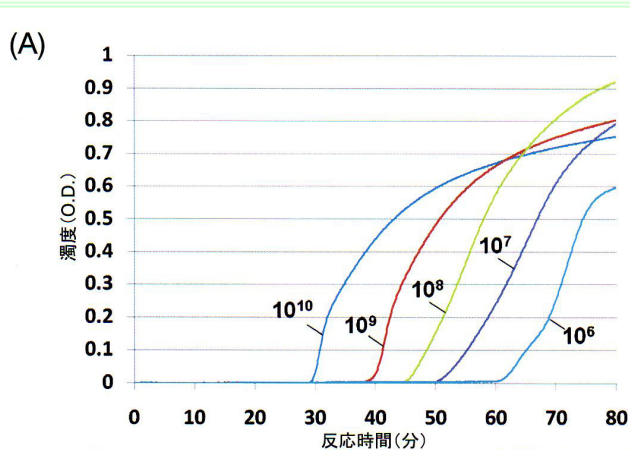
クルマエビ類に発生する急性ウイルス血症（PAV）、タウラ症候群（TSV）、伝染性皮下造血器壊死症（IHHNV）およびイエローヘッド病（YHV）は強い病原性を持つウイルスである。特に後3者は特定疾病に指定されており、海外からのウイルス伝播を防ぐために、高感度定量検出法の開発が急務となっている。そこで、高感度検出法である定量LAMP法を用いて、これらエビ病原ウイルスの検出方法及び検出試薬キットを開発した。

## 効果

本発明は、定量LAMP法を確立することによって、病エビの感染の有無ならびに感染の程度を知ることが可能となった。このことによって、ウイルスの蔓延防止や病気の予防に貢献できる。

## 利用分野

エビ類等の甲殻類の養殖産業



## LAMP法によるエビ病原ウイルスの検出と定量

連絡先

文部科学省・経済産業省承認  
技術移転機関

**株式会社みやざきTLO**

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎大学産学連携センター内

TEL: 0985-58-7942 FAX: 0985-58-7945

E-mail: info@miyazaki-tlo.jp

http://www.miyazaki-tlo.jp